

令和3年度(2年度実績) 総合評価書 <施設名 多治見市図書館>

1. 指定管理者名	公益財団法人 多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	平成28年 4月 1日 ~ 令和3年 3月31日

3. 業務の範囲	(1) 図書館法第3条各号に規定する事項に関すること。 (2) 図書館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (3) 市史販売等に係る料金の徴収に関すること。 (4) 読書の普及活動及び読書団体の支援に関すること。 (5) 図書館法第2条に掲げる目的のために必要な事業の運営に関すること。
----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4. 採点表

評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点		
1 運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)+D8:L9	5	新型コロナウイルス対応一律4点(令和2年度のみ)	年次報告書P240(利用率) 開館日数:日(R2:259日) R2:516,286冊 (新型コロナウイルス対応 一律4点)	4点	新型コロナウイルス対応一律4点(令和2年度のみ)	4点
		②利用人数	5	新型コロナウイルス対応一律4点(令和2年度のみ)	年次報告書P241(利用人数) 開館日数:日(R2:259日) R2:118,961人 (R1)158,491人 (新型コロナウイルス対応 一律4点)	4点	新型コロナウイルス対応一律4点(令和2年度のみ)	4点
	(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15~12点、仕様書に忠実:11~9点、仕様書の一部不実施(軽微):8~7点、仕様書の一部不実施(中程度):6~3点、それ以下:2~0点	【図書館】 年次報告書P241~250(文化事業一覧) ・第54回多治見市文芸祭 一般の部 1,009人(1,919点) 小中学生の部 5,287人(8,987点) 応募点数は一般の部 194点増、小中学生の部 3,138点減 ・文芸祭作品展示、文芸祭表彰式 ・企画展示事業 季節のミニ展示 67回 【郷土資料室】 ・古文書ミニ展示 3回、古文書講座 5回(講座タジミ学 2回、古文書講座3回)、 ・市政80周年記念事業への協力	仕様書以上 14点	・文芸祭はコロナ禍のステイホームが創作活動の後押しとなったのか、昨年を上回る応募があった。特に、例年応募点数の少ない小説・エッセイ・詩などの部門は大幅な作品増があり、ハイレベルな文芸祭となった。 ・昨年好評であった芥川賞作家の諏訪氏による講演会を表彰式後に特別ゲストとしたことから、文芸祭に関心の薄かった層にもアプローチすることができた。 ・季節の展示をすることで、より市民の文化活動を深めるサポートができた。 ・郷土資料を活用した市民講座を、郷土である「多治見」に関連する内容を取り上げて実施することで、幅広く多治見の歴史と魅力を発信することができた。 ・古文書講座はより多くの方にPRするため、学習館と共催で実施したことにより昨年よりも参加者の増加があった。	14点	
(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が期待以上:15~12点、内容・事業数等が例年通り:11~9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8~7点、内容・事業数等が例年より劣る:6~3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2~0点	【図書館】 年次報告書P251~265(文化事業一覧) ブックスタート事業、読書活動団体連携事業 ・新型コロナウイルス感染拡大を受け中止 英語多読支援事業 ・英語多読講座 1回 17人 多読クラブ 20回 123人 読書推進事業 ・図書館スタンプラリー、としょかんビンゴ(参加者107人)、ハロウィンクイズ(参加者70人) ・多治見高校図書館ゼミ ・親そだち4・3・6・3たじみプラン共催事業キッズスマイル「おはなしパーク」(参加者30名) ・企画展示 95回 ・雑誌リサイクルフェア(応募者218人)	期待以上 13点	・臨時休館期間はSNSを活用し、毎日図書館からの情報発信を行った。 ・図書館の既存概念にとらわれない新しい資料紹介として、図書館全てのジャンルから同一テーマによる様々な切り口での企画展示を行い普段はあまり動きの少ない資料も貸し出された。 ・英語多読支援事業においてオンラインで多読クラブを実施し、普段は参加することが難しい遠方に住む人や小さい子どもがいて外出が難しい方にも参加してもらうことができた。 ・大規模イベントを実施するのが難しい時期だからこそ、来館することがイベントになるよう、スタンプラリーやビンゴ、クイズなど行い、小さい子どもから大人まで参加があった。イベントの工夫により普段選ばない本との出会いを提供している。 ・利用が少ない高校生との連携事業を行い、参加した高校生に図書館を身近に感じてもらうとともに、同年齢の利用者への働きかけを行うことができた。 ・年間を通じて様々な企画展示を行い、利用者へ資料の紹介を行った。	13点		
2 施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	本館:学習館と同じ 定期清掃、日常清掃を実施。ロボットクリーナーによる清掃も実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点	
		②保守・点検		本館:年次報告書P266②保守・点検 機器等保守点検(図書館システム)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		③保安・警備		本館:学習館があわせて実施	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		④小規模修繕		本館:年次報告書P266④小規模修繕 有償修理 全3件 総額616,660円	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)		年次報告書P266⑤危険箇所の把握 ・毎朝の日常点検から本棚や机、椅子等のネジの緩みの確認、エンジェルカート、ワゴンカートの動作確認を行っている。 ・救命救急講習を休館日の閲覧フロアを利用して実施し、実際の職員の動きをシミュレートすることで確認している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	・多治見市のファイリングシステムに準拠する方法で適切に文書管理を行い、情報の共有を図っている。 ・業務フロアが2階、3階、4階に分かれることから、各階に設置する業務用パソコンをLANで結び、職員全員が業務連絡やメールの最新情報を把握できるようにしている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点	
②環境への配慮	・冷房運転を行う時は、壁掛扇風機を併用し冷気を循環させている。 ・除籍資料は、リサイクルフェア等を活用して利用者や公民館へのリユースを行っている。 ・再利用に耐えられない除籍資料は古紙リサイクルに回している。	適正(普通) 2点		適正に実施されている。				
③バリアフリー	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②2項目の合計点とする。 ①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②3項目の合計点とする。	・WebOPAC(インターネットからの本の検索)に障がい者支援ブラウザを導入し、視力が弱い利用者の図書館利用を支援した。(H30から1年更新、東濃3市では多治見市のみ) ・館内の案内は、小さな子どもから高齢者まで幅広い年代に応えられるようイラストや大きな文字を用いている。 ・開架フロアに「車いす優先席」を2箇所設置。図書館からのお願などの掲示物は、イラストを交えユニバーサルデザインとなるよう注意している。 ・字が読みにくくなった方向けに「大活字本」を揃えている。書架は定期的に配架する本を入れ替え、来館者に本を選ぶ楽しみも提供できるようにしている。 ・車いすやベビーカー利用者が開架フロアを利用しやすいよう、通路の幅を見直した。		適正(普通) 2点	・適正に実施されている。 ・障がい者サービスの拡充がされている。 ・WebOPAC(インターネットからの本の検索)に障がい者支援ブラウザを導入し、視力が弱い利用者の図書館利用を支援した。			

2		④備品管理			・やさしすと文庫基金や環境整備事業等を活用して、その日に返却された資料がすぐに手に取れるブックトラックや小規模展示をしやすいミニブックトラックなどを設置した。 ・経年劣化や不具合のみられる機器等は、迅速な修繕、更新を心掛けている。 ・小さいお子さんが利用する絵本コーナーは清潔な環境を提供できるよう、掃除のしやすいマットレスに刷新した。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		⑤個人情報保護			・各階にシュレッダーを配置するとともに、個人情報の記載された用紙は適宜シュレッダーをかけて廃棄している。 ・図書館システムの画面(貸出・返却)など、できる限り個人情報を表示しない設定にしている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。 ・図書館システムの画面(貸出・返却)など、できる限り個人情報を表示しない設定にしている。		
		⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、貸出期間の延長と貸出冊数の増加を市に提案した。	事故なし・対応に不備なし 0点	適正に対応されている。	0点	
3	当該施設の経営状況(5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満~100%:4点、100%未満:3点	収入279,462,095円÷支出284,684,216円=98%(学習館、子ども情報センター、市民活動交流支援センター含む)	100%未満 3点	事業収支によらず一律4点とする。	4点	
4	より良い施設運営のための取組(30点)	(1)市民・利用者の声の反映(15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10~8点、適正(普通):7~5点、不備あり:4~1点	・総務省や経済産業省等でも使われる支援ブラウザをホームページ上に導入し、利用者が求める文書の音声読み上げ、背景色の切替え、文字拡大、ふりがな表示、ディスプレイへの対応を可能にしている。 ・医療情報を探しやすいように、病名ごとに集めて配架し、分かりやすい「表示板」を設置した。 ・子どもへの読み聞かせのサポートとして、お薦めの本を集めた「この本おもしろいよ」を約10年ぶりに改定し配布した。子どもや親子向けの資料を「やさしすと文庫」を活用して配架した。 ・新型コロナウイルス感染拡大を受け、人との接触をできる限り少なくするためセルフ貸出機のPRを強化するとともに、安心して資料を利用できるよう図書除菌機の利用を促した。	期待以上 9点	・ニーズに迅速かつ適切に対応している。 ・WebOPAC(インターネットからの本の検索)に障がい者支援ブラウザを導入し、視力が弱い利用者の図書館利用を支援している。 ・返却のみの利用者のため、館外の返却ポストを24時間利用できるようにしている。 ・医療情報を探しやすいように、病名ごとに集めて配架し、分かりやすい「表示板」を設置した。 ・子どもへの読み聞かせのサポートとして、お薦めの本を集めた「この本おもしろいよ」を改定し配布するとともに、冊子に掲載している資料を手に取りやすくするために専用の書架を設置している。 ・子どもや親子向けの資料を「やさしすと文庫」を活用して配架した。 ・新型コロナウイルス感染拡大を受け、人との接触を最小限にできるセルフ貸出機や資料を安心して利用できる図書除菌機の使い方について分かりやすい説明を掲示し利用の促進に努めている。	9点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3~1点 ※苦情なしは5点とする	閲覧フロアに椅子がないのでゆっくりと館内で資料を読むことができない →新型コロナウイルス感染拡大を受け、ソーシャルディスタンスの確保と滞在時間の短縮をお願いするため、館内の椅子を撤去した旨説明し理解してもらった。 図書館HPの利用者のページの更新作業がしにくい →システム会社に更新可能か確認をしたところ即時に変更することが難しいプログラムであるという返答を受け、その旨お伝えし理解してもらった。	適正(普通) 4点	・適切に対応されている。 ・利用者の要望にも適切に対応されている。	4点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1~3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15~12点、適正(普通):11~9点、普通未満~物足りない:8~0点	・対面式での事業が難しい時期であっても、資料と人とを繋ぐ事業はできないかとオンラインでの多読クラブを実施した。 ・予約カードの書誌情報打ち出しサービスの開始。 ・利用の少ない中高生の利用促進につなげるため、高校生の授業やクラブ活動に協力し事業を行った。 ・カウンター周りの整備を行い、清潔でわかりやすい環境を整えた。	期待以上 14点	より良い事業実施の提案がされている。 ・既存概念にとらわれず、利用者と一緒に情報を共有しながら、より良い図書館としての方法を考えている。 ・様々な機関との連携を深めながら、新しい利用者の創出に取り組んでいる。 ・「利用者の目線」で館内の施設やサービスを改善している。 ・より予約をしやすくするため、書誌情報を打ち出してお渡すことで予約カードの記入事項を最小限にできるサービスを開始している。	14点	
5	その他(減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1~△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3		遅れ・不備なし 減点なし		0点	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1~△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3		指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし		0点	
		合計	100	【4段階評価】 極めて良好 100~85点 良好 84~65点 努力が必要 64~45点 取消し等を検討 44点以下				合計86点	
							全体的な評価 ・“こんなときだからこそ”と創意工夫し、既存概念にとらわれない新たな提案による事業を展開している。 ・図書館の現状、利用者のニーズを的確にとらえ、SNSを活用した情報発信やイベントができない状況下で来館すること自体をイベントとにしようとした試みなど利用促進に取り組んでいる。 ・利用の少ない年代である高校生との共催事業を実施し、図書館のPRができた。 ・利用者が安心して利用できるよう、常に新しい取り組みをしている。		極めて良好